

## 日本学術会議

自動運転の社会実装と次世代モビリティによる社会デザイン検討委員会

自動運転企画分科会（第25期 第6回）

### 議事要旨

日 時 令和4年7月22日(金)10:00~12:00

会 場 オンライン開催(Zoom)

参加者(敬称略) 永井、大倉、宮崎、遠藤、須田、有本、鎌田、中野

#### 議 題

##### (1) 前回議事要旨の確認

承認された。修正があれば、幹事に連絡する。

安全工学シンポジウムのパネルディスカッションは、話題は広範囲であったが、充実していた。資料は販売物なので、広く情報共有するには注意が必要。議事要旨は公開する。

##### (2) 見解表出の申し出の経過 【資料2】

対応委員会からの回答があった。網掛け部分が重要箇所である。内容をさらに充実させて提言とするのではどうかという打診があったが、今回は ELSI 部分を見解として出し、今期の最後に社会デザイン等も含め提言として出すという当初方針で行きたい旨返答し、了解していただいた。その他、提言の発出までの期間は短いので、提言の準備も並行してお願いしたい、過去の提言も参考にしてほしい、自動運転技術は日進月歩なので、キャッチアップをして欲しい等の要望があった。法学委員会リスク社会と法分科会との連携・調整が必要となる。

【資料3】は対応委員会の調査結果である。23期提言、24期提言、学術フォーラム、との関連、学術会議の過去の出版物イベントに対するキーワード検索結果が記されている。

【資料4】を基に、目次案と内容の素材等について説明がなされ、議論を行った。形式によって、ページ数は変わるので、前回の提言である資料6を参考にして、フォーマットに従って書いた方が良いとの意見があった。前回の提言を2-3割引き継いで、新しいところを加えて欲しい。ジョンアーリの話は遠藤先生も行っている。参考にしてほしい。福島原発事故の後、科学者の行動規範の議論があったが、その後を調べておくとうい。できるだけワンボイスにする。ワンボイスにできないところは、アカデミアが、意見が共通するところをしっかりと書いたうえで、差異があるところに触れるのが良い。倫理の問題、国によって違うが、その違うところと議論を深めていくのがよい。そういう仕組みやプラットフォームを作っていく必要がある。

見解案は9月の課題別委員会でオーソライズして、対応委員会に出す。最終提言に向けた骨子の素案を鎌田先生に考えてもらう。

### (3) 課題別委員会の調整

提言に向けて、都市計画（自治体経営）、社会実装、法律関係の一本化（松宮先生のご意見も伺いたい）を議論したい。都市計画は富山市長にお話しいただくのはどうか。RoAD to the L4事業の横山さんにお話しいただくのも良い。ELSIについては見解が出るので、それを提言までブラッシュアップしたい。社会デザインについては、小野先生、谷口先生に書いていただきたい。資料5に鎌田先生の考えがまとめられている。人口減少社会がキーワード。事業側の受容性も重要。事業者目線も必要。道路運送車両法などの整備方法も大きく変わっている。そちらへの言及も必要である。ただし、モビリティを考える上では重要と思うが、整備については、既に政府は動いている。話題として出すのは良いが、提言としては書きにくい。

課題別委員会を9月に開催する。次は12月、その次は3月、最後は6-7月。

第 24 期の提言は 3 月末に完成していたが、発行は 8 月だった。1 月ぐらいに最終的な内容の議論が行われないと間に合わない。

今回は、日本学術会議として提言を出すので、査読は時間がかかる可能性はある。菱田副会長とスケジュールについて相談しながら進める。

#### (4) 提言に向けた方針について

社会デザインに向けたイメージ素案の説明が鎌田幹事からなされた。実際には小委員会の先生方中心に作業を進めてもらい、それをもとに議論を深めていきたい。

#### (5) 小委員会の報告

中野幹事から説明がなされた。毎月くらいのペースで開催していて、毎回議論が活発になされている。

#### (6) CN 連絡会について

大倉副委員長から最近の動きについて説明がなされた。提言を出す際には、CN にも触れることが必須である。CN について日本は官庁の動きが遅い。アカデミー中心で CN を考える仕組みづくりが必要。

#### (7) 学術の動向 7 月号特集について

鎌田幹事から、7 月 8 日に無事発行された旨説明がなされた。雑誌は有料であるが、バックナンバーになると無料で公開される。学術の動向は、今後、発行形態が大きく変わる予定である。

資 料 資料 1 : 第 5 回議事要旨 (案)

資料 2 : 【助言】 2022-014 見解「自動運転における倫理・法律・社会的課題」

資料 3 : 【調査結果】 2022-014 見解「自動運転における倫理・法律・社会的課題」

資料 4 : 見解の目次案

資料 5 : 社会デザインのイメージ素案

資料 6 : 【セット版】 24 期提言自動運転